

# まちのわだい

## 太鼓や歌で楽しく交流

### ふれあい交流会開催



健康体操を楽しむ参加者

5月25日から6月8日にかけて、町社会福祉協議会主催の「ふれあい交流会」が町民憩の家でにぎやかに開催されました。これは、町内の一人暮らしの高齢者を町民憩の家に招待し、外出の機会をつくり、レクリエーションや入浴などで楽しく交流してもらおうと各校区で行われているもので、6月1日の交流会には木山、津森校区の約90人が参加しました。開催に先立ち住永町長が「皆さんの交流をとおして、毎日

を元気に過ごしてください」とあいさつ。そのあと参加者たちは、町保健師から健康体操の手ほどきを受け、近くの席に座った方々とともに、手を使った体操を楽しみました。

またステージでは、益城太鼓「紅」による華やかな太鼓の演奏や保育園ころ（広崎）の園児によるかわいい踊り、みゆき&オートルズ・アントニオのギター演奏など多彩な催し物があり、参加者たちは盛んに拍手を送っていました。

参加者も自らカラオケや踊りなどを披露し、終始、笑顔の絶えない一日を過ごしました。



園児たちによる踊りの披露

## かわいい花を植えたよ

### 益城中央小学校1年生

6月11日、益城中央小学校（おおつかひろし大塚博資校長）で、1年生の児童69人と木山校区民生委員（とよせたけし豊世武士幹事）ほか10人が校庭の花壇に花を植えました。

花の苗は、委員の方々が「花のようにやさしい気持ちを伝えたい」と毎年提供。今年は、ポーチュラカ、サルビア、マリーゴールドを計500株贈りました。

子どもたちはスコップを持ち、委員の方々とともに、1株ずついねいに植え付けていきました。

1時間もすると花壇は美しく生まれ変わり、かわいらしい花々がそよ風に揺らいでいました。



一緒にたくさんの花を植えました



たくさんのジャガイモがとれました

## 楽しかったジャガイモの収穫

### ごきぶろう伍三郎農園で津森小学校児童

5月27日、津森小学校（西たよ子校長）の子どもたちが、学習畑「伍三郎農園」でジャガイモの収穫を行いました。

ジャガイモは、子どもたちが今年2月から同小PTAの協力を得て、丹精込めて育ててきたもので、実の大きさ、数量ともに上々。

子どもたちは手を泥だらけにしながら、掘ったばかりのジャガイモを次々とコンテナに移していました。

この日とれたジャガイモは約500kgで、一部は学校給食にも使われるということでした。